

IMPORT SPORTS TUNING

TATSUMI MOO
タツミムック

BMW

mag.

FOR OWNERS & FAN

ビーエム・マク
ダブリュー

Vol.019

インポートスポーツチューニング
BMW オンリーマガジン
<http://www.sport-tune.net>

流クーペ大研究

6に見るBMW流 クーペのあり方とは

とGLAD with ASADA RACING始動
スーパーGTに参戦!



果たして世界はそれを望むのか...

M DCTに与えられた役割

気になるBMW

M3セダンで巡る奥州



走行800km

燃費計測テスト

(BMW M3) / MINI COOPER S (GMT)

R56 NEW MINI COOPER S

エンジンチューニング大全

コンパクトボディ+FRレイアウトが生む痛快なハンドリングが魅力

2/87/88 1Series MASTER BOOK



本場ドイツのチューナーが抱くBMWへの思い

HAMANNの世界

ニューモデルに向けた新作を意欲的に開発

世界のBMWチューニングのシーンをリードするドイツの老舗チューナー「ハーマン」。その動向は、各々日本のユーザーにとっても常に目が離せないものだ。最近でも、E92 M3用のエアロやワイドボディを纏ったE70 X5用フレッシュキットをリリースするなど、その物はいとどまるところを知らない。ここでは、そんなハーマンを率いる代表的なリチャード・ハーマンに新作のコンセプトや今後の展開について伺った。

編集者(以下、編): E92 M3の新型X5など、新作のスタイリングパーツが陆続とリリースされていますが、それぞれどんなコンセプトで開発されたのでしょうか?

ハーマン(以下、ハ): まずE92 M3では、クーペボディの美しいラインを生かしながら、M3の持つスポーティなイメージをさらに引き立てるようデザインしました。また、ダウンフォースや冷却性の向上など、空力性能を追求するとともに、軽量の鍛造ホイール(40M EVO FORGED)にM3専用サイズを設定するなど、徹底的にこだわったパッケージングを提案しています。

編: ワイドボディのX5も、実にハーマンらしいアグレッシブなスタイリングですね。

ハ: 最近ではこうしたSUVモデルでも、スポーティなスタイルを求めるユーザーが増えているのです。このフレッシュキットは、そうしたユーザーに向けて、吾々が考えるスポーツテイストを形にしたものです。

編: SUVといえば、X6の方でも新しい展開を考えていらっしゃるのですか?

ハ: はい、X6の方でもすでにX5と同じようにメーカルフェンダータイプのボディキットとワイドフェンダーのキットを開発中ですので、近いうちに皆さんにご紹介できと思っています。それ以外にも新作として、1シリーズクーペ用スラットインテークの開発も予定していますので期待して下さい。

編: それでは最後に日本のハーマンファンに向けてメッセージをお願いします。

ハ: ハーマンではこれからもBMWを中心にハイオリティディでオリジナルティに溢れるパーツをラインアップしていきます。日本の皆様にもぜひハーマンの素晴らしさを体感していただければと思います。



長年レーシングドライバーとして活躍したリチャード・ハーマンが創設した「ハーマン」、80年代から90年代にかけ、数多くのチューンドBMWを世に送り、世界屈指のBMWチューナーへと成長したハーマンが、これから目指していくものとは……?

写真: 村野英典
文: 富島小太郎(PAGE)
/渡辺大輔(PAGE)
/photos by Masaru Tetsuya
text by Masaru Itokura
/Watermark Database



自らのレーシングドライバーとして蓄えた経験を活かして、BMWのチューニングにも誇りを注ぎ、「BMWの志を継ぐ者」の称号に輝いた。ドイツの自動車界をリードするハマンの、